

こども新聞

週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行

2020 11/29

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

あなたの隣の
外国人

イギリス出身で宮城県柴田町の陶芸家ジェームス・オペさん(61)に、これまでの歩みを聞いたよ。

ジェームス・オペさん(61)

イギリス出身／陶芸家

初めて陶芸をしたのは中学生のころ。美術が好きで友人とろくろを回したそうです。「でも陶芸に特別な関心があったわけではなかった。陶芸家になるなんて…」

大学では都市計画・造園を専攻しましたが、中退しました。「勉強が嫌いで、授業になじめなかった」と言います。その後、建設現場で

職人のアシスタントをしてお金をため、特に目的地を定めずアメリカ横断旅行へ。ハワイを経由して訪れたフィリピンでは、難民キャンプで働きました。

そこから日本に渡ったのが1982年。実は来日の1番目の動機はアルバイトで、陶芸は2番目



回り道で得た経験生きる



宮城県柴田町にあるオペさんの雷窯。たなには虹の模様のさまざまな食器がならんでいるよ

でした。本格的に陶芸を学ぶ中で人脈が広がり、83年から85年まで福島県浪江町にあった大堀相馬焼の鈴木幸山さんに師事しました。

窯を創設し、陶芸家として独立しました。作品を象徴するのは七色の虹模様。誕生のきっかけは長年使っていたニンジンの絵柄でした。ニンジンの彩色が増えるうちに虹に必要な色

がそろいました。「雨上がりの空にかかる虹は安らぎや協調、自由を連想させる」と気に入っています。



子どものころの夢の現に向かって一直線に進む人がいる一方で、なかなかやりたいことが見つからない人もいます。

しかし、人生は人それぞれ。「挫折して回り道をしたからこそ得られた経験があり、出会えた人がいた。その全てが今の自分につながっている。縁や運にも恵まれた」と振り返ります。

つまずき、迷いながらも一歩を踏み出した勇気と行動が、道を切り開いたんだね。その時は失敗や遠回りだと思うかもしれないけど、成長に必要な時間で、より良い将来への近道なのかも。

今週の注目ニュース

◇12月1日(火) 新語・流行語大賞発表

ことしの流行や注目を集めた出来事を象徴する「現代用語の基礎知識選 2020ユーキャン新語・流行語大賞」が発表されるよ。候補となった30語のうち、新型コロナウイルス関連の言葉が半数を占めたそう。

きょうの紙面

- 2面 「こどもホスピス」つくりたい
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ